

中野山コーディネーター通信

あ め ん ぼ

<第85号>

地域教育コーディネーター／戸井田 美紀・本多 淑



3年生そろばん授業ボランティア



3月6日（月）3年生の「そろばん」の授業に、そろばん講師の杵鞭先生をお招きしました。初めてそろばんに触れる児童がほとんどでしたが、先生のご指導のもと「足せない4は5を足して1を引く」と唱えながらそろばんの玉をはじくと、「あ！本当に答えが来ている！魔法みたい！」とかわいい声も聞こえてきました。

最後は、フラッシュ暗算の体験会。大画面に次々と映し出される数字を暗算で足します。上級問題は数字を確認するだけでも追いつかないほどで、大盛り上がりの授業となりました。

子どもたちが楽しくそろばんに触れる機会を作ってくださった杵鞭先生、どうもありがとうございました。



フラッシュ暗算、難問にも
正解者が！すごい！



図書室 蔵書点検



3月14日（火）～16日（木）の3日間、図書室の蔵書点検を行いました。

昨年度に引き続き、今年度も地域のボランティアさんや中野山小学校を卒業した学生さんたちに協力していただきました。

図書室にある約12,500冊の本、一冊一冊のバーコードを読み取り、行方不明の本や、傷んだ本がないかを確認します。また、本棚の清掃や、本の並び順を直したりする作業もお願いしました。年に一度行われる蔵書点検、来年度もボランティアを募集することになると思います。

その際はぜひご協力よろしくお願いいたします。



なかのやまに「ありがとう」があふれています



中野山小学校の2月・3月の生活のめあては『**かんしゃの気持ちを伝えよう**』でした。

2月下旬の「六年生ありがとう週間」から「六年生ありがとう集会」にかけて、6年生と下級生の間であたたかい「ありがとう」がたくさん交わされました。

卒業を控えた6年生の間では「だれにありがとうを伝えるか」が話し合われました。そして3月に入った登校時、地域の見守りパトロールの方一人一人に感謝の言葉を伝えたそうです。

寄せられた地域の方々の声の一部を紹介します。

3月1日(水) 朝、いつものように登校見守り
してあげました。6年生 女の子 4人
そろって、お礼 “6年間 ありがとうございました”
言葉を言ってくれました。
その後も 6年生 男の子 2人 並んでお礼。
“ありがとう ございました” 感謝に、嬉しく思っ
生徒さんたちの真摯な姿に “力” をもらいました。

地域の方からお礼のFAXが学校に届きました

「6年間ありがとうございました」と言われて、もうそんなに経つのかと思いました。小さかった1年生が立派に大きくなって私も嬉しいです。ありがとう。ご卒業おめでとうございます。

6年生の感謝のこトバを聞いて感激しました。年をとりそろそろ見守りパトロールも引退しようかと思っていましたが、4月からまた頑張ろうという気力がわきました！

3月8日(水)には、子ども見守り隊の皆様にお集まりいただき、「感謝する会」が開かれました。見守り隊の方から、子どもたちの交通マナーがよいこと、子どもたちから元気をもらっていることなどお話をいただきました。全校児童からは、暑い日も雨の日も雪の日も、毎朝見守っていただいたことに感謝の気持ちを伝えました。



校長室で咲いた「感謝の桜」



本年度も、学校活動の様々な場面でたくさんの方々からご支援ご協力をいただきまして、ありがとうございました。

2月・3月は、中野山小学校にたくさんの「ありがとう」が行き交いました。「ありがとう」を伝える相手がたくさんいるということは、たくさんの人に見守られ、たくさんの人と交流し、たくさん楽しい時間・うれしい時間を経験できた証拠だと思います。

私たち地域教育コーディネーターもたくさんの心のこもった「ありがとう」を受け取りました。新年度もパートナーシップ事業では、中野山小学校を「ありがとう」でいっぱいにするお手伝いをしていきたいと思っています。

今後とも皆様のご協力をお願いいたします。